

令和6年度 東住吉区区政会議 第2回安心つながり部会

1 開催日時 令和6年9月30日（月曜日） 19時～20時35分

2 開催場所 東住吉区役所 1階検診室1

3 出席者の氏名

（出席委員）

井本啓二安心つながり部会長、丸川正吾議長、伊藤智美委員、小坪琢平委員、堺政昭委員、
佐藤茂忠委員、堀江淳委員

（市会議員）

渕上議員、田辺議員

（東住吉区役所）

藤原区長、村田副区長、森本総務課長、今西事業企画担当課長、杉浦総合調整担当課長
松木区民企画課長、羽根保健福祉課長、七堂保健主幹、秋山保護課長
藤井窓口サービス課長

4 議題

（1）次期東住吉区将来ビジョンについて

（2）その他

○杉浦総合調整担当課長

みなさんこんばんは。

本日はお忙しいところ、また夜分にもかかわらずお集まりいただきましてどうもありがとうございます。只今から、東住吉区区政会議第2回安心つながり部会をはじめさせていただきます。私は、区政会議の事務局を担当しています総合調整担当課長の杉浦でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

区政会議につきましては条例に基づく会議となっております。条例の規定によりまし

て委員定数の2分の1の出席が無ければ成立しないという事になっております。本日は、委員の方の定数が10名のところ現時点で7名の方の出席をいただいておりますので、今回は有効に成立していることをご報告いたします。

続きまして、本日ご出席をいただいております市会議員の皆様をご紹介します。田辺議員でございます。

○田辺議員

こんばんは。よろしくお願いいたします。

○杉浦総合調整担当課長

渕上議員でございます。

○渕上議員

こんばんは。どうぞよろしくお願いいたします。

○杉浦総合調整担当課長

ありがとうございました。

それでは、会議の注意事項をご説明いたします。会議は公開となっており、後日議事録を公開するために録音いたしますので、ご発言の際は必ずマイクをご使用ください。発言される際は挙手をいただきまして、部会長から指名があれば最初にお名前を言っていただき、ご意見を述べて頂きますようによろしくお願いいたします。また、本日の会議につきましても、会議の様子を動画撮影し区の公式 YouTube において一定期間配信いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

本日の会議資料につきましては、報告の都度確認させていただきますので、もし資料がないという事がございましたら、事務局までお願いいたします。

会議時間ですが、約2時間を予定しております。午後9時ごろの終了を予定しておりますので、時間内で活発な意見交換が行われ、会議を効率よく進めることが出来ますようにどうぞ皆様のご協力をよろしくお願いいたします。それでは、会議に先立ちまして東住吉区長の藤原よりご挨拶申し上げます。

○藤原区長

皆様こんばんは。区長の藤原でございます。

皆様には、本日、お忙しい中御出席いただき、また日頃は、市政・区政の各般にわたり御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

区政会議の本年度第2回安心つながり部会の開会に当たりまして、一言ご挨拶を申しあげ

ます。

今年度の区政会議では、主な取組みとして、次期「東住吉区将来ビジョン」を策定するに当たっての御意見を賜っていくこととし、その前提として、前回の部会は、安心つながり部会・子育て教育部会の両部会を合同で開催し、区政運営に関する基礎的な事項を御説明させていただいたところです。

今後、できるだけ様々な御意見を数多く賜りながら、次期「将来ビジョン」を策定してまいりたいと考えておりますので、委員の皆様には、本日、ぜひとも活発に御意見を賜りますようお願い申し上げまして、はなはだ簡単ではございますが、私からのご挨拶とさせていただきます。

それでは、本日はよろしくお願いいたします。

○杉浦総合調整担当課長

ありがとうございました。続きまして、出席しております区役所職員を紹介いたします。時間の都合がございますので、私から名前を読み上げ、一礼させていただく形でご紹介とさせていただきます。

着席順に改めまして、藤原区長です。村田副区長です。今西事業企画担当課長です。森本総務課長です。松木区民企画課長です。羽根保健福祉課長です。七堂保健主幹です。秋山保護課長です。藤井窓口サービス担当課長です。最後に私、総合調整担当課長の杉浦です。よろしくお願いいたします。

それでは議事に入ってまいります。進行については井本部会長にお願いしたいと存じますので、井本部会長よろしくお願いいたします。

○井本安心つながり部会長

はい、ありがとうございます。皆さんこんばんは。本日部会長として進行役を務めさせていただきます井本です。よろしくお願いいたします。皆様のご協力のもと活発な意見交換をいただきながら、会議を円滑に進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

議題について、区役所からの説明をお願いします。説明の後、一括して委員の皆様からご意見・ご質問いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議題に入ります。レジュメに沿ってですが、議題１の次期東住吉区将来ビジョンについて説明をお願いします。

○杉浦総合調整担当課長

それではお手元の資料を見て頂きたいのですけれども、資料１の次期将来ビジョン策定に向けた区政会議における意見交換の進め方になります。資料をお持ちでない方いらっしゃる

やいませんか。それでは説明に入らせていただきます。

前回の区政会議におきまして、区政会議の本部と部会の回数、そして本年度から取り組む課題についてご提案させていただきましたが、本日お手元にございます資料は、今後の部会において何を行っていくのかということと、大体のスケジュール感をお示ししようかと思ひまして作成させていただいたものです。

まず、もう既に開催済ですが一番上の第1回というところです。7月に開催しました部会では、前回の繰り返しになって申し訳ございませんが、簡単に申し上げますと「本会を年度のはじめと終わりの2回開催することといたしまして、その分部会の開催を充実させることといたしました。具体的には年度内に3回、ご議論の状況によっては追加開催することといたしました。

また、取り組んでいただく課題につきまして次期将来ビジョンの作成のための意見聴取と決定いたしまして、取り組み期間をイの任期を踏まえた令和7年9月末までと定め、十分に意見交換を行って頂くことといたしました。加えて、アンケートでご要望が多かった区政運営における基礎的事項ですね、行政の仕組みでありますとか予算などについてご説明させていただきました。ここまでが第1回目で行ったことでございます。

次にその下、第2回のところをご覧ください。本日でございます。今回、参考にご覧いただく資料としまして、東住吉区にまつわるデータ集と区の予算事業の概要をあらかじめご送付しておりますが、次期将来ビジョンの目指す区の将来像としまして、区政会議でのご意見を織り込んでいきたいと考えております。現状で委員の皆様が感じておられる東住吉区の魅力や強みについて、またそれらを踏まえた将来的に目指す東住吉区のイメージについて、キーワードやフレーズでご記入くださいというふうに事前にご意見を求めさせていただいておりますが、本日は事前に求めさせていただいたご意見を説明していただくと同時に、意見交換の中からも新たに思いつかれたキーワードやフレーズも発信していただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

第3回の部会では、本日皆様から頂いたご意見を取りまとめ、分類したものをご覧いただく予定です。第4回の部会では、ご議論の状況によってまだ時間が必要という事でありましたら、開催させていただくという事になっております。そしてその下です、今年度第2回目の本会議の場においては東住吉区の将来像・まちづくりの方向性の案をお示しいたします。

その後は、令和7年度に入ってからのご予定でございますが、令和7年度の第1回の会議において前年度中にいただいたご意見などを織り込むかたちで、将来ビジョンのたたき台をもとにした意見交換を行い、その後は開催時期などは、ちょっと今の段階では未定なのですが、任期終了までにビジョンの素案をお示しする予定です。今後のご議論の状況によりましては、部会の開催回数や開催時期などが多少変更になる可能性がありますことをご了承くださいますようよろしくお願いいたします。以上でございます。

○井本安心つながり部会長

意見交換に際しましては、本区政会議の議長として学識経験者の立場でご参画いただいています丸川議長にファシリテート役をしていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

早速ですが、意見交換に入りたいと思いますけれども、今お伝えさせていただきましたようにファシリテート役として丸川議長に進めて頂く、ちょっとお手伝いしていただくというような形でお願いします。それでは、丸川議長お願いします。

○丸川議長

はい、ご紹介にあずかりました、本会でも議長をさせていただいております丸川です。よろしくお願いいたします。

ファシリテートってカタカナだと難しいと思いますが、皆さんがなるべく意見を言いやすいようにしていきたいなと思っておりますので、進行をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

事前記入用紙ということでお手元に、事前に事務局から送付されていたと思います。事前にご提出頂いた方の分はですね、私の手元に置かせていただいております。まずそれをベースに、事前に提出されていない方はまたその場でおっしゃっていただければと思いますけれども、お話を伺いつつ、この東住吉区の魅力や強みについてというようなところとか、あと将来的に目指す東住吉区のイメージというところについてですね、お話を伺っていききたいというふうに思っておりますのでよろしくお願いいたします。まず手元にある方から行きたいというふうに思いますけれども、意見交換の前に現時点で東住吉区の将来ビジョンはどういうふうに考えているのかについてご説明頂きます。

○今西事業企画担当課長

事業企画担当課長の今西です。よろしくお願いいたします。

資料2がお手元にあると思いますがご覧ください。こちらが、次期東住吉区将来ビジョンの骨子、いわゆる目次になります。現時点ではこのような構成を考えております。

順番にご説明をさせていただきますと、1番目将来ビジョンの定義、将来ビジョンというのが2016年から2020年、2021年から2025年と、これまで2回策定しております。その間に、当区のみなんですけど、まちづくりビジョンをつくっております、いわゆるソフトだけではなくてハードも含めたまちづくりの方向性っていうのを策定してきております。これをですね、2026年から2030年バージョンをつくるにあたりまして、ソフトもハードも合わせて区全体を網羅した形での将来像を描きたいなというのを思って、今回策定準備をしているところでございます。将来ビジョンというのは、区長が区の将来像を設定して計画の期間中において区の事業の進め方に関する根拠となるものです。対象としては区長の関与するすべての分野を対象にしております。

また、社会情勢の変化も最近早いですので、経過期間の途中で見直しなんかも想定して策定したいと思っております。こういうことが1番のところに書かれて、2番目のところの現状データというところ、いわゆる統計学的データをここで東住吉区の数字的なものをここであらわそうと思っております。3番目がですね、1回目の部会で事務局から説明させてもらった、区長の役割・区役所の役割の考え方とか課題認識というのをここで書きます。区役所っているんな事務もやっておりますし、独自の事業もやっております。それ以外にも、大阪市全体でやっている事業についても区長が関与する範疇もありますので、その辺も含めて網羅的にここで書こうと思っております。

4番目のところですね、事前シートにも書いていただいたところになるんですけど、この将来像に向けた項目出しというところで、いわゆる東住吉区に関連する区の魅力であったり区の強みであったり課題であったり、あとは区役所がやっている事業・事務に関するような課題なんかを、住民の皆様の視点でたくさん意見をいただきたいと。意見と言っても、キーワード的に出していただいて、それを一旦は分類をしてですね、似たようなものを集め構成を考えて、最終的にはこれを元に5番目の東住吉区の将来像・まちづくりの方向性というのを作っていききたいと思っております。

本日資料のシートのほうにもいろいろ書いていただきまして、こちらを発表していただきながら、お互いにご意見もいただきながらそれをまとめまして次の部会等でいったんは分類をしたやつを出させていただいて、次年度にはそれを深掘りして分析もして。いわゆる素案の形に持っていききたいなと思っております。その中で、5年間の中で優先順位をつけて何をやっていくかっていうのがこの間見て頂いた運営方針なんかにも反映されていくというような流れを考えております。将来ビジョンにつきましては以上です。よろしくお願いいたします。

○丸川議長

はい、ありがとうございました。将来ビジョンというものがこういうような構成になっているよというところをご説明頂いたところかなというふうに思います。その中で、事前に書いていただいたこの東住吉区の魅力や強みについて、あるいは将来的に目指す東住吉区のイメージというようなところでですね、書いていただいたという方もいらっしゃるし、ちょっと考えてみたという方もいらっしゃるかなと思いますが、今日はここからですね、ご意見を聞いていく、というような時間にしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。という事で、井本委員からよろしくお願いいたします。

○井本安心つながり部会長

区の魅力・強み、地域資源や区政というところですね。ちょっと例のところに引っ張られた感はあるんですけども、僕の考えた分は「スポーツ」が一つと、もう一つが「自然」

というところですよ。スポーツに関しては、もちろんですけど長居陸上競技場・ヤンマースタジアム長居があったりなどという、たくさんそういったものがあったりすると、障がい者スポーツセンターがあったりしますし、サッカーだけではなくて、ラグビーとかもされたりとか、陸上大会・スケボーとかもありますし、大きな大会とかではなければ地域の中でもボッチャであったりとかね、そういったスポーツっていうのも地域住民の中でも流行っているじゃないですけども、増えてきているかなってところも感じられます。先日もオリンピック・パラリンピックもあってそれに出場している選手っていうのも、東住吉区の方もおられたりっていうのもあったりしますので、そういったところ「楽しめる場所」っていうのが多いというのが東住吉区の魅力じゃないかなというところで考えました。

もう一つ自然というところに関しては、これも同じく長居公園・長居植物園もありますし、うるし堤公園とかっていうものもあります。公園がたくさん東住吉区にあるかなと思います。公園以外でも区花である「なでしこ」ですけども、伝統野菜である田辺大根っていうのも普及していつているのかなと思いますので、自然が身近にあるのが強みかなというところで魅力かなと思ひまして、あげさせて頂きました。

魅力をより高めていくために必要なことというところで、両方にかかわってくることはあるんですが、長居公園・長居陸上競技場・ヤンマースタジアム長居、東住吉区といったら長居やねとなりがちなところが残念だなと、一個思うことがありますので、そういったところじゃなくて、長居公園周辺以外のところでも、地域でスポーツに「触れる・観れる・楽しめる」というようなところが増えていったらいいなというところで思ひました。自然という部分でもそうですけど、長居公園・植物園以外のところの公園とかもたくさん魅力がありますので、そういったところも発信していけたらと思います。

あとそれに含めて、移動手段というところもありますので、交通手段とか道路整備とか、障がいのある方であっても気軽に外出できる環境整備というのをやっていければ、もっと皆さん外に出れるようになるんじゃないかなというふうに思ひました。

将来的に目指す東住吉区のイメージに関しては、人と人が出会い、つながり支えあうまちというふうに挙げさせて頂きました。以上です。

その心は、災害とかもそうなんですけど、今お伝えさせていただいたようにスポーツとか自然とか、年齢とか性別とか障がいのあるなし関係なしにですね、いろんな方たちがかわれる世の中というのがいいんじゃないかと思ひておりまして、そういったことをするために、人と人が出会う場所が必要で、つながる場所が必要で、それがなじみになって支えあえるんじゃないかなとちょっと思ひておりまして、挙げさせて頂きました。

○丸川議長

ありがとうございます。キーワードとしては「スポーツを楽しめるまち」「自然を楽しめるまち」というようなところで、ご紹介をいただきました。

特に長居公園が出てきたかなというふうに思ひますけれども、やっぱり魅力を高めてい

くためには、長居公園だけじゃないというようなご意見とか、交通手段・道路整備などが進んでいって、障がいのある方でも気軽に外出が出来るというものがあつたら、良くなるんじゃないかといったご意見かなというふうに思っています。その中で、人と人が出会い、つながり支えるまちという事を掲げて頂いておりますという整理でございます。

また、皆さんで議論する場を持ちたいと思いますけどいったん皆さんは書いていただいたものをそれぞれ紹介いただこうかなと思っておりますので、次の方に参りたいと思います。佐藤委員も出していただいておりますので、ぜひご紹介を頂ければと思いますけれどもよろしくお願いいたします。

○佐藤委員

東住吉区社会福祉協議会の佐藤です。今回の、東住吉区の魅力や強みについて、普段社会福祉協議会というところで、福祉の現場で勤めているので、地域住民ではないという立場でありますけれども、この2年半東住吉区のほうで働いて、感じたところをお伝えさせていただければと思っています。

少し井本委員とかぶるところはあるんですけれども、1つ目のキーワードといたしまして「交通の利便性」という事で、区内には7つの駅があるという事ですね、市内中心部に、特に天王寺に行くにはすごく出向きやすいというようなところが1つ魅力かなというふうに思いました。2つ目は、商店街の賑わいという事で、今年久しぶりに駒川中野のお祭りとかちらっと見させていただいたんですけれども、北田辺商店街での祭りが開催され、にぎわっているというようなところで1つ挙げさせていただきました。3つ目が重なる場所なんですけれども、スポーツ・健康づくりが活発というところで、長居公園というところにはどうしてもなってしまうんですけれども、長居公園を活用し、スポーツや健康づくりに励む人が多いというようなところで1つ挙げさせていただきました。

続いて、魅力や強みをより高めていくために必要なことという事ですね、先ほどの交通の利便性につきまして、各駅にもう少し区内のイベント情報などをポスターなどで発信すると。田辺駅のほうでラックにイベント等のチラシがあつて拝見させていただいたこともあるんですけれども、もう少しもっと他の駅、私も今川とか田辺駅とかあまりよく見たことないんですけれども、可能でしたらそういったところでチラシ・ポスター等を掲示していただいて発信するというようなところと、また、せっかく7つの駅があるというように、何かちょっとした駅前ポイントラリー的なイベントを開催するというようなところを、ふと思いつきで書いてみました。

続いて商店街の賑わいというところについてなんですけれども、よく商店街の中で盆踊りをされていたというところで、これはやっぱりこれから後世の世代に引き継ぐためには、盆踊りを通じた世代間交流というように、小学校・中学校の子どもたちにもその盆踊りの魅力っていうのをもっともっと交流を深めている地域もあるかと思うのですけれども、そういったところを次世代に継ぐようなところも1つ考えられるのかなというふうに

思いました。

そして、スポーツ・健康づくりが活発というところなんですけれども、これはもう長居公園ではすでに開催されていたというふうに思うんですけれども、例えば地域対抗の駅伝大会等ですね、こういったところに小学生の部とか大人の部とかに分けて開催するというようなイベントも楽しいんじゃないかなと。ただ、開催する地域とか人集めとかの苦労もあるかもわからないんですけれども、なんか1つこういうのもあってもどうかなというふうに思いました。

最後に、将来的に目指す東住吉区のイメージといったところなんですけれども、ちょっとこれは、魅力とか強みを高めるために必要なことから若干外れる、つながっていない部分もあるんですけれども、行政を中心に区内各団体が横のつながりや親睦を深めるため、一同に会しそれぞれの想いを共有する話し合いの場を設定というところが1つ。それからもう1つ、将来的に誰もが安心して気軽に相談できる人と人とのつながり、ここはちょっと被ってますけれども、困ったときはお互いさまといった、住民同士の、また企業も含めた地域コミュニティがより一層豊かな区をめざすという事で私が思ったところです。以上です。

○丸川議長

はい、佐藤委員ありがとうございました。

キーワードとしては「交通の利便性」とか「商店街の賑わい」あと「スポーツ・健康づくり」というのも活発であるというのも挙げて頂きましたし、井本委員と同じで長居公園といったところが挙げてきたなというところがあります。より魅力を高めていくために必要なこととして、発信をするというのが大事なんじゃないかというご意見がありました。

ほかに具体的なことをやったらいいんじゃないかというようなアイデアもご披露いただいたかなというふうに思っています。7つの駅があるから駅前でポイントラリーみたいなことが出来るんじゃないか、あるいは盆踊りで多世代交流が出来るんじゃないか、駅伝大会でスポーツなどを生かしていくことが出来るんじゃないかというようなご意見があったかなというふうに思っています。井本委員と結構共通していましたね。

最後の将来みたいなのところですけど、横のつながりみたいなのところであったり、あるいは支えあいであったりみたいなのところもそうなんですけれども、気軽に相談できる支えあいみたいなのところもありますけれども、共通したイメージを持たれているのかなと私には聞こえました。はい。ありがとうございます。

それでは、順番にというわけじゃないんですけれども、手元にある順番で行くと堀江委員になりますので堀江委員ぜひご紹介いただけますでしょうか。

○堀江委員

堀江です、よろしくお願いいたします。

最初のところのキーワードでいうと、4つ考えました。地域愛というのと、長居公園・商店街・ワクワクという言葉になります。上から説明させていただきますと、地域愛っていうところでいうと、どこもそうなのかもしれませんが昔から東住吉区に住んでおられる方の地域を想う気持ちとか、その地域の子どもたちを想う気持ちというのはすごくいろんな方とお話しさせていただいても、そういうのはすごく強いし大きいなと思っているのでそれはすごく強みだなと思います。

長居公園というのはあえて長居公園を指したのは、健康・運動だけでなく「芸術」や「植物」などの心の部分にもアプローチしていけて、さらに「食」だとか「学び」というところに深くかかわっているというのは長居公園は強みだなと思います。商店街というのは、駒川商店街とは言わず、いろんなところの商店街が強みと思っているのは、昔ながらの人と人のつながりは温かみを感じることが出来るというふうに、やっぱり減っては来ていると思うんですけど、そういうところがあるからこそ、商店街のよさだなと思うのです。それは強みだと思っています。ワクワクという言葉を使ったのは、矢田南部の地域をはじめ、長居公園とかいろいろと開発が進んだりとかいろんなことを仕掛けていこうという動きがあるので、それはワクワクが止まらないなという思いがあるので、それをキーワードとさせて頂きました。魅力や強みを高めていくために必要なこととしまして、ちょっとそれぞれにというわけではなくて、僕が思ったのは、住民と行政が密になっていくような関係性づくりが大切だと思います。もちろんこうやって区政会議とかもあるんですけど、集まるっていうよりしっかりディスカッションが出来るような場がやっぱりかなり必要だろうと。それがあると、強みがより生かせるんだろうなと思います。

最後のところです。キャッチコピーのようなものを書くのかなと思ったので。子どもがと言うより、3世代が住みやすいまち、子どもから高齢者までが安心して住めるまちとか、3世代で住みたいまちナンバーワンとか、3世代が住みやすく時にワクワクするまちとかいうふうな言葉をあげてみました。以上です。

○丸川議長

はい、ありがとうございます。キーワードとして4つ「地域愛・長居公園・商店街・わくわく」というのをあげて頂きました。面白いなと思ったのは、長居公園が運動とか健康とかだけじゃなくて、芸術とか植物とか、心の部分にも結構効いているんじゃないかというご指摘は面白いなというふうに思いました。公園なんだけど、そういうような要素があるよねという事をご指摘いただいたかなというふうに思っています。

魅力や強みを高めていくために必要なこととして、しっかり密に行政と密になるという話、あとしっかりディスカッション出来る。ただ集まって何人来ましたみたいな話ではなくて、ちゃんと将来区をどうして、この会はまさにそれではあるんですけど、どういうふうにこうやって行こうかしらみたいなことを、しっかりディスカッション出来るような場っていうのが、つくるとより魅力が上がっていくんじゃないかというお話ですね。

あと、東住吉区のイメージのところでは、みんなについていうよりもむしろ三世代っていうのを出していただいたのは言葉として新しいかなというふうにも思っていて、みんなが住みやすい街ってなんとなくどこでもありそうなんだけど、それをわざとというか三世代というふうに、おじいちゃんおばあちゃんから、本人の世代とあと子ども、というのが含まれるというのを三世代というので入れたらどうかっていうようなご提案だったかなというふうに思っていて、面白いなというふうに思いました。

という感じで、書いていただいた委員の皆さんのものは全部紹介できたんですけど、ちょっと今まで聞く一方だった委員のみなさんも、どこからでも構いませんし思いついたところからでもいいんですけど、ちょっとご紹介いただきつつ皆さんのお考えを聞きたいかなというふうに思っております。じゃあマイクがちょっとそこにあるので、小坪委員、何かフレームで思い浮かぶことをお話しいただいてもよろしいでしょうか。

○小坪委員

小坪です。よろしくお願いします。私が大阪市から委託を受けて、東住吉区の障がい者基幹相談支援センターをさせて頂いているので、その立場からというか、そのお話が強くなってしまうかなと思うんですけども、やっぱりこう東住吉の魅力と考えたときに、住みやすさというところが1つは出てくるかなと思います。社会支援が多いなと思っていて、障がい者の立場で言うと、「長居障がい者スポーツセンター」や「大阪発達総合療育センター」とか「早川福祉会館」とかいろんなものがあるので、特に障がい児をお持ちの親御さんとかは、わざわざ他の地域から東住吉区に引っ越してくるくらい社会支援が充実しているというところがあるかなと思うのと、先ほど言われていましたけれども、天王寺にアクセスしやすいという意味で、交通アクセスがすごく整っているかなと思います。まずはそんなところかなと思っています。

○丸川議長

はい、ありがとうございます。キーワードとしては「住みやすさ」「交通アクセス」というのが出てきたのかなと思っていて、特に住みやすさ、障がいをお持ちの方もわざわざ来るくらいのいろんな社会的な施設とかも結構多いかなというところが特徴だよねっていうような話であったり、交通アクセスが整っているという感じかなと。

それで、思いついたらでいいんですけども、この次の下の枠のところで、もっとこうしていったらいいのになというところ、もっとより強みを高めていくために必要なこと、思いつくことってありますか。無理にというわけではないんですけど、何かあれば。

○小坪委員

やっぱりまだまだ、障がい者・高齢者とか、他の区民の方々と関わる機会というものがない

いというのがあるのかなと思っていて。これは東住吉区だけではないんですけれども、関わったことがないからわからない・知らないみたいな感じで、何をしゃべっていいか分からないとか、こんなこと聞いていいのかなっていう話ってすごくいっぱいあるので、例えば防災とかっていうことを考えたときにも、なかなかどういうふうに手助けして良いかもわからない。みたいなこともあるので、まずは住んでいることを知ってもらって関わる機会を増やしていくっていう、ありきたりなところが実は一番大事なのかなと思っていて、住んでいたり、顔が見える関係になったら、もっと踏み込んでお互いいろいろ出来る関係になると思うので、そういうところを改めて強化していくっていうのが、将来像っていうところに関わってくるのかなと思います。

○丸川議長

はい、ありがとうございます。考えて頂いてありがとうございます。区民と関わる機会がないっていうところが、改善をしていくというかもっと伸ばしていくきっかけになるんじゃないかなというふうなお話だったと思います。いろんな分野に関して、別に障がいでも高齢でも防災でもいいんですけれども、一步踏み込むためにも、関わる機会っていうのを作っていく、充実させていくというのが魅力を高めていくために必要なことであるし、将来像のところでもそういうようなものが入ってくるといいんじゃないかというふうなご意見だったんじゃないかというふうに受け止めました。ありがとうございます。

じゃあ次は、お待たせしましたという感じではありますが伊藤委員ですね、よろしくお願いします。

○伊藤委員

伊藤です、よろしくお願いします。

区の魅力のところのキーワードは、ちょっと堀江委員とかぶるんですけれども、ワクワクするまち・住みやすいまち。「ワクワクするまち」は長居公園や駒川商店街など皆さんと同じことになってしまうんですけれども、誰に聞いても知っているという知名度のすごく高い楽しめる場所があるという事、「住みやすいまち」というのは、仕事柄高齢者の方と接するんですけれども、東住吉区の魅力って何ですかっていう機会がありまして、皆さん口をそろえて住みやすいとおっしゃるんです。なんで住みやすいかっていうところは、交通が便利で天王寺のどこにでも出られて、あとは買い物をする場所がたくさんあるという事をおっしゃっていました。

魅力や強みを高めていくために必要なことは、長居公園や駒川商店街などというところをあまり活用できていない気がするので、「子どもから高齢者まで皆さんが参加できるようなイベント」などで、区外の方などに東住吉区をアピールしていったほしいなと思います。

将来的に目指す東住吉区のイメージは、「誰もがずっと住みたくなるまち」で、誰もがと

いうところは、今の将来ビジョンのイメージのところは、子どもが輝き、みんなが幸せなまちのようなキャッチフレーズみたいなのがあったんですけど、子どもだけではなくて、高齢者や障がい者など、みんなが住みたいなと思ってもらえるまちにしていきたいなと思います。以上です。

○丸川議長

はい、ありがとうございます。

キーワードとしては2点「ワクワクする」というのと「住みやすい」というのをあげて頂いたかなというふうに思っています。魅力的な施設や商店街とかがワクワクするよという話と、高齢者のお仕事に関わってらっしゃる中で、皆さんが住みやすいとおっしゃるというようなところを論拠とされていたかなと思います。そういう中で、そういうものもあるんだけど十分に活用できていないんだよねという中で、イベント、いろんな人たちが参加をしやすいイベントであったり、外からも人が呼べるようなイベントというのをやる中で、個々は将来像にもつながりますけれども、そのアピールをしていって、誰もがずっと住みたくなくなるというようなまちにしていくなが必要なのではないか、そういう中で子どもだけではないんじゃないかというご指摘も頂いたかなというふうに思っております。ありがとうございます。

そうしましたら、お待たせをいたしました。堺委員、なにか東住吉区の魅力とか強みって何ですかというのをお聞かせいただければと思うのですがよろしいですか。

○堺委員

堺です。私たち地域振興会のスローガンは「安全で明るい住みよいまち東住吉区」。これが私たち地域振興会のキャッチフレーズになってます。それをいつも掲げてますので、今話してるビジョンによく似てるなと思ってます。

僕たち矢田は、私が中学校に行ったころ一番遅く大阪市に編入しました。昔は長居公園のところに競馬場があって、私ら矢田中学校の生徒は、電車乗ってなかもずまで試合行くのに公園で競馬やってるところを超えて長居まで行っていたわけ。そういうのを見ているから、あの時に将来ビジョンが出せてたらもっとよかったかなというふうに今思ってます。

皆さん方が今言っている長居公園や、大阪市の三大商店街となってる駒川商店街。それもいいと思う。とにかく安心で住みよいまちにしたい、いつもそう思ってます。青パトとか。もう私のビジョンからしたらそれしかない。みんなとなかよくできるしね、地域で昔の井戸端会議的なものが出来ればなとかいろいろ考えてます。盆踊りも僕たちは実際やってきているから、何かイベントを、これやったらええでっていう事を考えるようにしないとと思います。大阪で今矢田が目立っていると聞いていて、土地の値段があがっているのがうれしい。東住吉は今チャンスやと思うから、どんどん進めていってほしい。

利便性の話があったけど、私、生野の方とかいろいろ行きますけどいろんなバスが細い道路も通るんです。東住吉区はバスの路線がほとんどありません、その辺を考えてほしい。森本病院へ向かうバスをと言うてるんやけど、交通局に言ったら予算が無いからできませんという。地域でお金出してでもいいから東住吉病院の方へ行けるようなバスをつくるとかね、いろいろもっと考えないと思います。

○丸川議長

はい、ありがとうございます。「明るく安全住みよいまち」っていうところを掲げていらっしゃる中で、商店街がいい等いろんなご意見がありましたが、安全なまちをつくりたいというお話があったかなというふうに思いますし、井戸端会議がしたいという話は堀江委員がおっしゃっていた、会うだけじゃなくてディスカッションもという話につながるかなというふうに思いましたし、あと盆踊りやっという話もありましたが、盆踊りやってみたらどうかという佐藤委員の話もありましたけれども、そういうようなところがうまくつながっていくことが大事かなというふうにも思いました。

ただ、魅力を高めていくために必要なこととして、交通の話が出たかなというふうに思っています。バスが少ないというような課題であったりとか、安全と交通というところが今後改善していく課題にしていかなければいけないんじゃないかというお話。その中で、明るく安全で住みよいまちになっていったらいいんじゃないかというふうなご意見だったんじゃないかなというふうに思っております。ありがとうございます。

皆さんにご意見を言っていたいたので、私は住んでいないのであまり意見を言うのも、あとファシリテータの役なので意見いうのもあれかなと思ったんですが、ちょっとだけ、参考までにご紹介をさせて頂きたいなと思っていまして。今皆さんがおっしゃっていただいた、お年寄りが住みやすいみたいな話とか、交通機関とか、まだ足りないところもあるとは思いますが、相対的には便利だと思っているのと、買い物とかも良いという話が挙がっているんですけれども、これが皆さんが主観的に思っている、生活の中で思っていると思うんですけれども、デジタル庁がやっている調査で全国10万人に聞いたという調査があるんですね。その中で、東住吉区は100人に聞いたというのがありました。10万人日本全国遍く聞いて、東住吉区は100人聞いているというような調査があって、その中でその100人の人たちが東住吉区のどこがいいと思いますかというのを、全国のと真ん中が偏差値50なんですけれども、その中で東住吉区の人たちがやっぱりここは強いよねと思っているところが何処かっていうのを指している調査があって、一番は偏差値が66.8なんですけれども、医療福祉が充実している。これが最も高い。東住吉区に住んでいらっしゃる人たちが、日本の真ん中が50のところと比べて66.8あるっていうのが最も高く、次に買い物に不便が無い。これが65.1。公共交通で移動がしやすいが63.9、というふうに、区民の皆さんがそこが強いよねとおっしゃっておるデータと、今日皆さんがおっしゃっていただいた内容っていうのが結構重なるところがすごくあるなとい

う事をですね、思いました。総じて高齢になっても不便を感じずに生活が出来るっていうのが、相対的に全国と比べても言えるんじゃないかなというふうにも思ったりもしています、というような話。

それで、魅力や強みを高めていくために必要なことなんですけど、若い人たちは特に医療・福祉のニーズが必ずしも多いわけではない。お年寄りに比べたらそこまで病気になるとか、けがは多いかもしれませんけれども、その中で若者にとって 東住吉区で生活して活動することが良い・魅力的だと思ってもらうことが、より東住吉区の魅力を強くしていくために必要なんじゃないかなというふうに思いました。

そういう意味では、他の委員の皆様からも出てきましたけれども、「子育て・教育環境が充実したまち」になる、というのが便利さ、住みやすさを生かして若い層にアピールしていくうえでは必要なんじゃないかなとも思いますし、もう一方の方向としまして、高齢者が安心して暮らしてる健康長寿のまちという方向性もあるのかなというふうにも思って考えました。私は住んでいるわけではないので、客観的に裏付けるとどうなるかという話をしてみましたけれども、ご参考になるかなというふうに思っております。

○堺委員

矢田は、介護のまちかっていうぐらい介護施設ばかりできてます。ちょっと大きい場所があって、解体した後何が建つかと言ったら介護。介護施設やリハビリセンターとか福祉が充実すると言うたらいいかもしれないけど、私らがそこへ入ろうと思っても手続きがあるから入れないんです。だから実際はどうかなという気がします。

○丸川議長

そういった意見もあるという事は大切なことかなというふうに思います。ご意見ありがとうございます。

一旦、皆さんこのフレームに沿って言いたいことは言ってもらったというふうに思っているんですけども、皆さんの意見を聞いていて、私さらにこう思ったとか、書いていただいた方もそれ以上に言っても全然かまいませんし、なにかご意見あったら聞いていきたいなと思っているんですけども。何かありますか。

○佐藤委員

私も仕事柄、東住吉区が4つ目の区になりまして、区民フェスタというのがどこの区も区民祭りなどであるんですけども、東住吉も他の区に比べて数倍すごい人が集まるなという事で、それも長居という大きな公園もあったりとか、それだけ集客力がすごくある区というか、それを非常に感じております。そこだけ付け加えさせていただければと思います。

○丸川議長

他の区と比較してみても、長居公園の強みがあるんじゃないかという事を重ねてご発言をいただいたかなというふうに思います。

そのほか何かありますか。あてて申し訳ないんですが、堀江委員とか何か聞いている中で思いついたとかでもなんでもいいんですけどもいかがですか。

○堀江委員

強みとはちょっと違うかもしれないんですけども、商店街がにぎわうっていうのがあると思うんですけども、商店街が落ち目になっていっているのを何とか単発のイベントで盛り上げようっていう動きはあるのかなっていうのは思うんですけども、そこをなんとかこう強みを高めていこうという部分になるのかなと思っているんですね。もちろん商店街がたくさんあってにぎわっているのはいいと思うんです。それを平時に盛り上げていくっていうのはすごく課題ではあるだろうとは思いました。

○堺委員

商店街は閉まっているところも多い。商店街の理事をやってる人に聞いたら、またあそこに店入ると思いますと言うけどもなかなか入らない。それと外国の方が良く来られて商売している。出店的なもので「韓国・中国系」が多い。昔よりはにぎわいが落ちてるけど、そういったもので商店街は確かににぎわってる。駒川商店街は大阪の三大商店街の一つに上がってるし、みんなで育てて頑張りましょう。

○丸川議長

ありがとうございます。堀江委員から単発のイベントをやってはいるけれども、どうやってそれを底上げしていくかっていうようなことが必要なんじゃないかというご意見で、堺委員からみんなで頑張っていきましょうというようなご意見だったかなというふうに思います。ほかに、はいどうぞ。

○井本安心つながり部会長

ありがとうございます。井本です。皆さんの意見を聞きながらというところで、すごく魅力がたくさんあって強みもあってという話もたくさん出ていて、ちょっとひねくれた言い方かもしれないですけど、強みに見える部分もあるけど、逆にそこが弱いところであると今話を聞くと感じていて、交通の利便性がいいという話に関しても、天王寺に行きやすいという話があったりとか、あるかもしれないですけど、全然バスが通ってなかったりだとか、タクシーがなかなか捕まらないというようなことが、東住吉区だけじゃないかもしれないで

すけど。そういうところで実際若者、元気な方たちは利便性があっていいのかもしれないけど、そういうところがあるけど、そうじゃない方々であつたりとかすると、なかなか動きにくい地域なのかな、もしかしたらっていうのはちょっと感じたりはしました。

あと、買い物とかもそうなんですけど、買い物とかもしやすいとかもあるんですけど、実は商店街とかスーパーとかもなじみのところが段々さびれてきていてというところで、なんでさびれてきているか、なんで行きにくくなっているのかなというふうな感じも思ったりするので、そういうところも、もっと行きやすくなったら、またみんなが憩いの場じゃないですけど、集まれるような場になったりするんじゃないかなというなのも感じたりとかもするので、発展していくのもいいんだろうけど発展する中でそういったところを大切にしながらもう一回復活させるみたいなところに持っていけたらいいんじゃないかなというのは感じました。以上です。

○丸川議長

ありがとうございます。そうですね、その視点は大事なかと。先ほど相対的には強いというお話がありましたけれども、強みを持続させるという事を考えたときに当然ながら人口が減っていくというトレンド自体は変わらないとは思いますが、担い手が減っていくというのは日本全国何処でもそうで、そこからそれを奪っていくというような話でもないような気がして、やり方とかを考えていくとか見直していくとかという事もしていかなないと、強みをキープしておくという事は基本的には自然の流れに沿っていくとうまくいかないというところもあるので、それを区の皆さんもそうですし、我々区民の皆さんも含めてどうやって、それをつくっていくかという事をしっかりそのビジョンのなかで考えていく必要があるんじゃないかなと、井本委員のご指摘を聞いていて思いました。ほかに何かありますか。

○堀江委員

堀江です。先ほど買い物の話があって、買い物難民という言葉もあるくらい高齢者の方々がどうしても行きにくくなっているんで、昔だったら赤バス、あのバスがやっぱり大きかったんだと思うんですけども、それも予算的に難しいんだったら、お店の方が行く出張バスみたいなもの、動いてくるようなものが地域では求められているので、そういうところで何かできたらなと思っていた時に、外国の方が商店のほうで出てきているという話で、そのあたりで何かうまいこと出来ないかなというふうに思いました。

○丸川議長

はい。ありがとうございます。そのような困りごととかニーズを抱えていらっしゃる方もいるという中で、それを魅力と思ってきている人たちと、うまくバランスが取れないかなといったようなご意見だったかなと思います。

ほかに何か言っておきたいことは。時間的には余裕があるので区の皆様にご質問コーナーという形でいいんですけども。堀江委員が何か聞いたような顔をしているので。

○堀江委員

資料いただいていた「東住吉区の概要」というものがあつたと思うんですけども、あれの後半の産業とか、農家の話とかっていうところを、どういうふうにつなげていったらいいかなと思ってたんですけども、そのあたりはどのように区のビジョンに落とし込んでいけるのかなどあれば教えて頂きたいなと。見方がちょっとよくわからなかったの。

○今西事業企画担当課長

区の産業とかの関係はあくまで数字上のデータなので、これをどう落とし込んでいくかなどはまだこれからになるのかなと。ただ、特徴としては東住吉区は農地、生産緑地が大阪市3番目に入るほど多いところです。都心部でも生産緑地が残っている稀有なエリアです。産業も、矢田東や桑津の方とかにはものづくり系の会社がまだまだ多く残っています。ただ、生野区などと比べると産業構造が違って、生野区はモノづくり「鉄鋼」とかなんですけども、うちは生活密着型で印刷とかお菓子とかそういうのが多いんですよ。そういうのを今後どう生かしていくかはまだ研究中なんです。

ただ、地元の企業って大事で先ほどお話に出た「住み続ける」という話なんですけれども、働く場所というのがあるので、そのエリアに住み続けるというのがありますので、例えば地元の学校を出た子どもたちが、地元の企業に就職するということが出来れば、最近のトレンドである職住近接というのと合致しますし、そういうのも生かしていけないかなというのも研究中です。

○丸川議長

はい、こんな感じでも全然かまいませんし、では伊藤委員お願いします。

○伊藤委員

先ほどの堀江委員の赤バスの続きなんですけれども、私高齢者の方と接するお仕事をしております、やっぱり皆さん足が無い、区役所に来るバスが無いと、今里方面の方もずっと言われているんです。前区長にバスを通してもらえないかという事をおっしゃられた方がいまして、その時に生野区のほうでオンデマンドバスを運行して、今林の方がそ

のバスが通っているのに、自分たちはそれに乗れない・行きたいところに行かないので、乗れないからそういうオンデマンドバスを東住吉区でも通してもらえないかという事をおっしゃったときに区長が、生野区ともう一つ別の区でオンデマンドバスをされていて、今実験的なので軌道に乗れば東住吉区でも検討していくとおっしゃっていたんですが、それは今後どうなりますか。

○今西事業企画担当課長

オンデマンドバス、平野区・生野区・北区・福島区という3つのエリアでやっています。おっしゃる通り社会実験という形で運行させることで、どれくらいのコストがかかるのか、商業ベースで成り立つのか、あとはタクシーとどう住み分けするのかという部分を検証している最中です。今後検証して、どうなるのかというのが決まらないと、他のエリアには広げられないというふうに僕らも聞いております。ただ、僕らとしてもバスがどんどん減っていつていきますので、末端交通、鉄道なんかは幹線なので阿倍野とかに行くのには乗ったらすぐに行けるんですけど、区内の移動をする末端の交通が非常に弱いと僕は思っていますので、交通の視点というのは将来ビジョンの中でも課題という認識をして書き込んでいこうかなと思っておりますので、そういう取り組みは継続してやっていこうと思っています。

○丸川議長

他に何か。ちなみに前回の、この前の金曜日にも同じ会議をして、こんな感じで皆さんのご意見をさっくり聞けて良かったかなという感じなんですけれども、時間が許せばわがまち自慢というの、東住吉区という大きいくくりで議論をしていただいたんですけれども、ご自身が生活をしていらっしゃる、働いていらっしゃるという場で、こういうところがいいんだという、区の魅力じゃなくて、自分がかかわっている地域の魅力というのを言ってみてもらってすごくよかったので、もしよろしければ、そこですごく時間を使うというわけではないんですけれども、皆さん想像してみて、自分が働いていて或いは住んでいる場所の良さって何だろうというのを一言言っていただいて。井本委員から、よろしくお願いします。

○井本安心つながり部会長

ありがとうございます。井本です。わがまちというか変えてしまってもあれかもしれないですけど、今その話を聞いていて、東住吉区の中でかかわる人たちをイメージしていたんですけれども、「みんな東住吉区好きやなあ」というイメージがありますね。あんまり東住吉区嫌いやという人があまりなくて、東住吉区を好きなんやなという印象があるのと、さっき堀江委員が言っていましたが、昔ながらの方っていう方が沢山おられるようで、愛してはるんやなというのはすごく感じます。

○佐藤委員

仕事柄いろいろボランティアさんのコーディネートをするというのがあるんですけど、個人のボランティアさんというのは若干減少しているんですけども、ボランティアをしたいというグループさん、グループ活動をしたいというような方が増えてきていると。そういったところのグループさんが、施設さん側からの要望もあるんですけども、ボランティアをまだまだ頑張っって自分の生きがいとしてやっていきたいという思いの方が多いところ。あと、あっているかどうかはわからないんですけども、区のPTAさんとかの団体さんがすごく元気かなというふうに思っています。どうしても前の区とか比較してしまうんですけども、前行っていた区では、青少年指導員の活動が消滅してしまったとかいうようなこともあったり。という事を思うと、夏祭りとか拝見させていただきながら、すごく若い方々、PTAの方かなと思っていたんですけども、すごく元気で活発かなと感じたところ です。

○堀江委員

僕もちょっと、同じような感じになるんですけども、地域におられる方々とのコミュニティとか、地域を盛り上げようという団体さんが多いなという印象です。他の区や他県の方たちと話していても、東住吉区の活動がすごいなとよく言われるのは実際そうなんです。僕らはリハビリ専門職なんですけれども、区内のリハビリ関係職の中でも東住吉区の活動を発表して下さいとかっていう依頼があるくらい、いろんな活動が活発なところは、すごく自慢できるところかなと思っています。

○小坪委員

小坪です。私も住んでいるわけではないんですけども、うちの法人でいろんな事業をやっているなかで、事務所は西今川にあったり、もう一つのグループホームは東田辺にあったりという事を考えると、近所の方とのつながりというのがすごく強いなと思っていて、協会に入らせてもらっているというのものもあるんですけども、そういうつながりから防災の取り組みとかをやるときに協力してもらえたりとか。うちの事務所が西今川にあるんですけど、日曜日に餅つきしたからというのでお餅をもらったりとかっていうものもあるくらい、日頃から顔が見える関係づくりというの皆さん大切にされているなというのは思うので、人とつながるという意識が強いのかなと思いました。

○丸川議長

伊藤委員お願いします。

○伊藤委員

東住吉区にしか住んだことがないので他の区と比べてここがいいとかっていうのはないんですけども、長居公園だったり、今川緑道の桜だったり、田辺のほうで蛍が見れたり、大和川があったり、矢田のほうではお米を作っておられるところがあったり、季節を感じられるところがあるっていうのが、東住吉区のいいところかなと思います。

○堺委員

堺です。わが町の自慢という事で、地域振興会が14個ありまして、14の連合に喋らせたらなんぼでも言うと思います。連長会議ってベテランばかりやから、喋ったら自慢ばかりしてる。蛍もだし、だんじりとか。私ら矢田ではなんも自慢するもんあらへん。ただ、矢田は実際は公園南、矢田中、矢田東、矢田北の4連合があって、僕は1連合のつもりで、4連合でいろんなことをやります。東住吉区の中で例えば保護司会やったら60人ほどの指定があって、そのうちの20〜30人くらいまでは矢田4連合で持っていました。なんかやるでっていうたら矢田4連合にあつまって、ピシッとやりました。私が区PTA協議会の会長やった時なんかは地域の祭りに警察も一緒になって指導に入った。それくらいがんばったらやれるんです。

東住吉には大学の仲間とか、仲間いっぱいおりますから。だから東住吉はええ町ですので、東住吉と一緒に盛り上げていってください。よろしくお願いします。

○丸川議長

ちゃんと自慢されるところがあってよかったなと思っております。という中で、大体議論しなければならない「いいところ」「それをよくするためにはどうしなければいけないのか」という話、あとは将来のビジョンでというところで、ご意見を伺えたかなというふうにおもいますので、本日いただいた皆さまからのご意見はですね、区役所でまとめて分類のうえとつか、一番最初にご説明頂いたこの資料で次にこれを取りまとめてというようなところがありましたけれども、皆さまの貴重なご意見については、分類のうえ次回の部会でお示しを頂けるという事ですのでよろしくお願いします。いったんマイクを井本部会長に戻します。

○井本安心つながり部会長

丸川議長ありがとうございました。では最後にというところで議題2のその他というところで、説明のほうをお願いします。

○杉浦総合調整担当課長

はい、それでは議題の2その他というところなんですけれども、特に議案があるわけではございませんで、お手元にアンケート・質問票というのを今日置かせていただいております。今年度から会議が終わるたびにその会議についてのアンケートを行わせていただくことになりましたので、どうかご協力お願いします。その都度改善できるところはすぐに取り組んでいってより良い会議になるように改善させていただきたいと思っておりますので、会議終わりに書いていただきまして、机にそのまま裏返してお帰り頂けますでしょうか。どうかよろしくお願いいたします。以上でございます。

○井本安心つながり部会長

アンケートは皆さん後程書いていただければと思います。帰るときにご提出いただければと思います。本日の議題は以上になります、ありがとうございました。

全体を通してご意見・ご質問のある方ありますか？

本日、市議会議員・府議会議員の先生に来ていただいているかと思いますが、お言葉いただければと思いますが。

○淵上議員

皆様お疲れ様でした。貴重なご意見を頂戴できましてありがとうございます。実は先週の金曜日に第2回子育て教育部会があつて、同じような議題で話されていました。内容として出てきたのはなんとなく似ているのかなというふうに思っていたんですけれども、子育て教育部会で言ったことと違うことをお話ししようかなと思っています。

1つはですね、三世代が住みやすいまちっていうのがですね、限られてくるのかなと思います。例えば長居公園三世代が同じ時間に行つて、同じ時間を過ごす。だけど違う施設で過ごすっていうのが、可能なかなと思っていますので、そういうところが強みなかなと思っているんですけど、一方でバリアフリーはそんなに進んでいないんじゃないかなと思います。車いすでは避けれない段差があつたりとか、電車でも1つしかエレベーターが無かつたりとか、そういったのも取り組んでいかなければいけないのかなと、高齢者が住みやすいという意味ではそこが力入れていかなければいけないんじゃないかなというふうに思いました。会館でも、例えば食事サービスに來られててもよっこらしょとみんなで上げないといけない事案もあるので、そういうところも今後、スロープを付けますとか、全面を改装する必要がないかもしれませんが、そういうちょっとしたやさしさ・思いやり・気づきっていうものを現実にしていくのも1つの手かなと思いました。

あとですね、同じく高齢化で介護タクシーさんと東住吉区さんと協定組みますとか、例えば陣痛タクシーも協定組みますとかって言つたら、そういうのもまちづくりの1つとしてうたえるのかなと思っていました。

バスのことは田辺議員もすごく言われています。南北つながっていないバスがすごく多いっていうのもありますし、我々も一生懸命言っているんですけど、堺委員がおっしゃっていたように、大阪メトロさんは消極的ではあるのは私は理解しています。一方で、オンデマンドが3つ、平野区・生野区・北区・福島区でやっているんで、東住吉も早くやってくれというのは言っていると思うんですが、私たちも言っていますので、それでもオンデマンドにするにしろ使い方がわからないだとかっていうそういう交渉をしなきゃいけない、いろいろあるなと思っています。

1つ分かっているないので教えてほしいんですけども。さわやかセンターになるのか区の予算になるのかわからないんですけども、例えばおひとりで住まわれている単身の高齢者の方、買い物行くのが大変とかやったら、だれかボランティアさんやったり、前は行ってポイントが付くとかっていうのがあったんですか？それがなくなったと聞いているんですけども、それはいいシステムやったと私は思うんです。住みやすいまちっていうのは、そういう代行サービスっていうのを業者さんがやるよりも、地域みんなでやっていこうっていうのも一つの手かなと。ほかの資料を見ていたら、地域福祉サービスに興味はあるんだけど参加したことが無いというアンケートが7割近くあるので、なんかうまくいって、地域福祉サービスと言ったら食事サービス・ふれあい喫茶とかいろいろあるんですけども、知ってても興味があっても参加したことがないというのも事実としてあるので、そこらへんが難しいところではあると思うんですけども、私はお買い物のやつ復活したらええんちゃうのかなと思います。以上です。

○佐藤委員

佐藤です。いま渚上先生がおっしゃっていた、以前「とんずみサポート」という事で、今年の3月末で終了したんですけども、もともとは区からの委託という事で、我々社協のほうを受けていました。その後いい事業やという事で、独自の事業としてさせて頂きまして、確かにすごく利用という事で、300円で有償ボランティアさんを募ってですね、ボランティアしていただいた方にもお金払いますし、利用される方は安い金額で出来るという事で、非常に地域の高齢者の方々から、有効に活用はしてたんですけども、担い手が高齢になってきたというところで、例えば夏すごく暑い日が続くと、草むしりというところでも熱中症とかそういうふうなところでも気を遣うようになってきたりとか、ボランティアを登録をする方がすごく高齢の方というか。あとどうしても同じ方に頼ってしまうということも含めて、総合的に考えていますと、この先続けていくのは難しくなってきたというふうなこともあったりとか、ちょっとお金はかかるんですけども、業者さんも周りに出来てきたというところとかがございました。

○丸川議長

ありがとうございました。田辺議員お願いします。

○田辺議員

本日も貴重なご意見と活発なご議論いただきまして本当にありがとうございます。ビジョンの作成といったところにあたりまして、皆さんからいただいたいろんなご意見について、私もバスのことについてですね、今メトロさんが4つの区の実証実験でやっていてますけれども、一応メトロさんは24区全区でやる方針は取られているんですけれども、なかなか出だしのところが難しくて、路線バスにしろオンデマンドにしろ東住吉区だけに限らず、全国的に大変厳しい状況であるというのもお聞きになられていると思いますし、大阪でも南の金剛バスですね、狭山のところの。あと私の友人なんかが住んでいる京阪沿線ですね、京阪バスなんかでも寝屋川市駅なんかからちょっと守口の淀川のほうに行くようなところも大分本数が減ったみたいなのところもあって。

それから東住吉区って区内にある電車の電鉄の路線が4路線あるんですね。そこから西に足を延ばせば御堂筋線の昭和町・西田辺を含めれば、東住吉区民の方も特に南田辺エリアに住んでいる方なんかは西田辺の駅を利用される方なんかも多くてですね。そういう意味でも路線的には大変便利なんですけれども、実際区役所に行けないとか、東住吉区の一番大きな病院の森本病院に行けないとか、その足が無いというところ。そういう身近な足のところがうちの区だけじゃなくて日本全国的に課題だろうと思うんです。僕正直交通という形の予算組みはですね、正直難しいなと思っていて、これは昔から交通局に言っているんですけれども、福祉予算でやっていくしかないのかなと。タクシーチケットになるかどうかはわからないんですけれども。

今ライドシェアという形でですね、大阪で国に規制緩和を求めているところではあるんですけれども、タクシー料金というのは一応規制があってですね、僕も改善できるかどうかはわからないんですが、GO タクシーを使われているかどうかは分かりませんがものすごくすぐ来てくれるんで。こういう言い方をするとお叱りをうけるかもしれないんですけれども、例えばメトロで70歳以上の方が乗れる敬老パスってありますけれども、あれはメトロさんが出していただいているのではなくて、大阪市の福祉局の予算でメトロさんにお支払いしている福祉の予算なんですね。そういったところを皆さんに我慢いただいてそれを回すとか、東住吉区が先行して何かできるのであれば、区長からさっき聞いたんですけれども数千億の予算を持ってはると。それは冗談として、なかなか区の予算としては難しいかもしれないんですけれども、何かそっちの方で我々も知恵を出していきたいなというふうに考えております。

あと、少し外国人の方が増えているというお話もありましたが、これ私先日の子育て教育部会でもお話ししたんですけれども、事実は分からないんですけれども、駒川商店街の空き店舗なんかは、事実を確認していないんですけれども、歩いているところの街のうわさでは中国人のオーナーが買いに来てそこ全部オーナーやねんと話されていることもあります。

事実は分かりませんがそういう噂になっています。

あと、事実関係として矢田東の敬老会をやらせていただいたときに、地域の役員の方にお伺いしたんですけれども、古いマンション・文化住宅系がなくなってそこに新しい家・一戸建てが建っていて、このところ中国人の方とかが来られてお仕事とかもされていて、お子さんとかが中国人の方が学校に来られててというようなお話をされていて、この間の子育て教育部会では、外国人の方が矢田北で増えておられると。1つはお仕事されている方が、しっかりとお仕事もされて子育てもされている方がおられて学校に外国人の子どもの方が増えている。もう一つが、これもお話ししたんですけど、コンビニとかでアルバイトされている外国人のかたはほぼほぼ留学生の方です。留学生の方は留学の在留資格を持ってこられますけど、週に28時間以内ならアルバイトが出来るということで、ほぼほぼ日本語教育機関に通ってアルバイトされる方がほとんどで、いずれにしても本当に増えています。多分とめられないんで、どの地域でも共生社会を作っていくとそこはまちづくりビジョンに入れるかどうかは分からないんですけども、東住吉区としてですね、1つ外国人との共生社会っていうのをですね、どこか置いてもらった方がいいのかなと。24区他やっているとところありますか。特にないですよね。先行して何かいいモデルでも作っていただけたら、いいのかなとおもいます。生野の方々たちはもともと日本に住んでおられますので、新しく東南アジアなどから来られた方とは違うところがあって、留学生の方が矢田・駒川商店街のまわりに増えておられますんで、ゴミ出しのルールであったりとか、日本独特のきっちりとした生活を維持していただくといったそのあたりをですね、来年度どこかで入れて頂いた方がいいような気がしています。皆さんの貴重なご意見が反映されてより良い東住吉区になることを祈念しております。今日もありがとうございました。

○丸川議長

田辺議員ありがとうございました。それでは、閉会にあたりまして藤原区長より一言お願いしたいと思います。

○藤原区長

本日は、夜遅くまでお時間をいただき、また貴重な御意見を数多く頂戴し、誠にありがとうございました。

次期「将来ビジョン」の私なりのイメージといたしましては、本日御意見いただきましたとおり、東住吉区は基本的に住宅地であり、「住みやすさ」を軸に考える必要があると思います。その中での課題解決ということも、もちろん大事ですが、それ以上に魅力や強みをより一層強化し、他との差別化を図っていく。そのようなプラスの方向性に重点を置いたメッセージ性のあるビジョンにしたいと思っています。

そのような点から、本日、皆様がこの東住吉区の地域の魅力や強みと感じておられること

について、多くの御意見をいただくことができ、たいへんありがたく思っております。

今後、次期「将来ビジョン」の姿をだんだんと形作っていく中で、皆様には引き続き御意見をお伺いしてまいりたいと考えておりますので、次回以降も御協力賜りますようお願い申しあげまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。

○井本安心つながり部会長

それでは只今をもちまして東住吉区安心つながり部会を閉会いたします。アンケート・質問票についてはご記入うえお帰りください。皆様ありがとうございました。